

達成度：H25.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

まちづくり課の目標（平成24年度）自己評価書

まちづくり課長 高山 信一

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 交通安全対策事業（維持管理班）</p> <p>交通安全施設の管理については、定期的な道路パトロールや地元からの通報により、補修箇所を確認し適正な維持管理を行います。なお、最小の経費で最大限の効果を得られる施工を実施します。</p> <p>交通安全施設の新設については、道路パトロール及び地域自治会からの要望を受け、優先箇所に設置することにより道路の円滑な通行及び交通安全施設の充実を図ります。</p> <p>なお、国道296号尾上交差点の右折レーン設置については、道路管理者であります千葉県と町でそれぞれ用地取得を行い、町道側については年度内に改良工事を実施します。</p>	4	<p>1 道路パトロールや地元からの通報によりカーブミラー等の施設の補修を、経費節減のため極力既存物の修繕に努め、効果的に実施しました。</p> <p>また、国道296号尾上交差点については、用地取得が完了したものの、県施行区間の用地取得が完了しなかったことから、改良工事は県の工事と合わせ平成25年度に実施することとしました。</p>
<p>2 防犯街灯整備事業（維持管理班）</p> <p>町管理防犯街灯については、適正に維持管理を行い犯罪や交通事故の防止を図り、安全な環境を整備します。</p> <p>自治会管理防犯街灯の電気料金・修繕料について、電気料金は費用の70%、修繕料は費用の50%の補助を行います。また、新規設置及び全改修については、費用の50%の補助を行いますが、要望内容をお聞きした上で、設置後の効果が高い箇所を選択し、地域住民の夜間の防犯及び交通安全の推進を図ります。</p>	5	<p>2 町管理防犯街灯の電球、自動点滅器交換や柱の腐食修理等の維持管理を160箇所について適正に行いました。</p> <p>また、各自治会管理の防犯灯348箇所の新設費や改修費補助を行い、35地区の電気料補助等を行いました。</p>

<p>3 道路の維持・管理（維持管理班）</p> <p>町道の維持管理については、緊急性のあるものを優先し、限られた予算内で効果的な舗装修繕を行ってまいります。また、定期的な道路パトロール及び地域住民からの通報や要望を受け、道路補修・側溝清掃・除草等可能な範囲を職員や近隣住民の協力を得ながら、道路機能の維持等について迅速な対応を図ります。</p> <p>4 適正な土地利用の促進（計画整備班）</p> <p>都市的土地利用が進まない市街化区域内の未利用地について、乱開発の防止やスプロール化の抑制を図り、適正な土地利用への誘導、促進に努めます。また、民間宅地開発事業者等を適正に誘導するため、宅地開発指導要綱や建築基準法に基づき、無秩序な開発やミニ開発などの抑制に努めます。</p> <p>酒々井町の将来都市像及び土地利用を明らかにするとともに、各地域のまちづくりの方針を定める「都市マスタープラン」を改定します。</p> <p>5 木造住宅耐震改修及び住宅リフォームの促進（計画整備班）</p> <p>木造住宅の耐震診断及び耐震改修工事に対し、その費用の一部を補助するなど普及に努め、地震に強いまちづくりを進めます。</p> <p>また、前年度に引き続き住宅のリフォーム工事に補助金を交付します。</p> <p>6 都市計画道路（墨・七栄線）の整備（計画整備班）</p> <p>酒々井ICの設置により南部地区土地区画整理事業区域等、周辺地域の効果的な土地利用を図るため、都市計画道路である墨・七栄線の整備を促進します。</p> <p>なお、道路整備工事については、平成24年度末の完了を目指します。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>3 町道の維持管理については、緊急性や痛み具合を勘案し、舗装の打ち替えや部分的な穴埋めなどの補修を行いました。</p> <p>4 民間宅地開発及びその他個別の開発行為について指導を行い、市街化区域内未利用地の適正な開発誘導に努めました。</p> <p>都市マスタープランについては、将来道路網及び交通量配分の検討を行いました。</p> <p>5 平成23年度より補助金制度を実施し、平成24年度では、実績ベースで42件、補助金額335万円、総工事費4,642万円であり、町内施工業者の活性化を図る効果がありました。</p> <p>6 都市計画道路 墨・七栄線のL=3kmを千葉県及びUR都市機構と連携し、全区間の整備を年度内に完了しました。（全区間の開通はH25.4.5）</p> <p>参考（酒々井インター開通 H25.4.10） （酒々井プレミアムアウトレット開業 H25.4.19）</p>
---	-------------------------------------	---

<p>7 幹線道路の整備（計画整備班） 既設道路の改修と交差点改良等を実施計画に基づき整備し、交通の安全や渋滞の緩和を図ります。</p> <p>8 中川流域の水害対策の推進（計画整備班） 中川流域水循環系再生計画策定委員会の提言や、庁内検討会の報告書を踏まえハード整備に先行して宅地内の浸透施設設置の普及に努めます。</p> <p>9 チャレンジ目標 社会資本整備総合交付金事業により進められている道路整備及び防災拠点の整備については、計画的な用地交渉、施設整備を進めて参ります。 また、新たに一般の住宅の耐震化対策としての耐震診断・改修の補助金制度の普及に努めます。</p>	<p>3</p> <p>2</p> <p>4</p>	<p>7 町道 01-011 号線（馬橋地区）、02-006 号線（上岩橋）など改良工事が可能な範囲まで用地の取得を進めました。</p> <p>8 住宅リフォーム補助金交付制度に併せ宅地内の雨水抑制施設（浸透トレンチ・貯留浸透槽等）設置の普及に努めましたが、前年に続き実績はありませんでした。</p> <p>9 道路整備については、酒々井インター開通及びアウトレットの開業前にアクセス道路の整備を完了しました。その他については、工事着手に向け、必要な用地取得を進めました。 防災拠点の整備については、中央台公園を防災公園として整備を実施しました。 耐震診断・改修の補助金については、耐震診断に 14 件、耐震改修に 9 件の補助を行いました。</p>
---	---	---